

四国の人々の生活を より豊かに幸せ多いものに していくために

一般社団法人 四国クリエイト協会

理事長 



当会は昭和43年9月6日に、社団法人四国建設弘済会として「建設行政の推進と建設事業の進展に寄与する」という目的をもって設立され、半世紀の間社会基盤施設の整備を実現するために支援・貢献してきた組織ですが、平成25年4月1日に「一般社団法人四国クリエイト協会」に生まれ変わりました。

また、平成22年7月に国土交通省から、発注者支援業務等からの計画的な撤退要請を受け、職員の雇用の確保とこれまで培われてきた技術の承継を念頭に、平成25年10月から平成28年12月にかけて「株式会社建設マネジメント四国」に段階的に事業譲渡してまいりました。



このように厳しい環境の下、職員が一丸となって難局を乗り越えるため、顧客、会員、取引企業、地域住民等から見て好ましい存在として信頼されるような取り組みを行っているところです。四国クリエイト協会の財産は「人であり、技術である」と常に一人ひとりがそれぞれのスキルを向上させることによる資質の向上に取り組んでいます。

業務を進めるに当たっては、社会的責任を強く認識したCSR行動憲章・行動指針を策定しています。

この憲章・指針を実現するため、コンプライアンス、品質管理の徹底はもとより、国土保全、地球温暖化も含めた環境保全の推進を行っております。また、東日本大震災や平成28年4月の熊本地震、平成29年7月の福岡県・熊本県に大きな被害をもたらした九州北部豪雨などに対する我が国の脆弱性を改めて認識

したうえで、防災事業に取り組んでいます。

平成26年4月から本格運用を開始しました「四国災害アーカイブス」は創意工夫に富む意欲的な取り組みであるとして、平成27年8月に土木学会からグッド・プラクティス賞を、平成28年5月には地域貢献賞を受賞しました。また、平成29年12月には「四国社会資本アーカイブス」の開示第一弾として明治以降の直轄河川・道路の情報を公開したところです。

今後30年間で発生する確率が7割と言われる、南海トラフ巨大地震とそれに伴う最大30m強と予測される津波をはじめとする大災害へ備えるため、四国地方防災エキスパート事務局は運営等災害対応支援の活動を積極的に行っています。また、技術開発、国土・環境保全、地域創生などを進めるための公益事業活動に取り組んでいるところです。



四国クリエイト協会は、四国の人々の生活をより豊かに、幸せ多いものにしていくために広く地域社会から信頼され期待される組織であることを目指し、より質の高い企業として努力を惜しまない覚悟のもと、今後も設立時と何ら変わることなく公益性を持った土木技術集団として地域に貢献して参ります。



最後に、本レポートは、「四国クリエイト協会」のCSR活動をステークホルダーの皆様にご紹介することを目的に作成しております。

是非ご一読いただき、忌憚のないご意見・ご感想を賜りますようお願い申し上げます。